

人権問題について、社会的良心について

④ 各地区活動の実態発表と全体討議。

⑤ 郷土芸能の発表会。

(3) 生活問題研究協議会

ア 目的 暮らしの中での政治と経済を考え、その学習を深める。

イ 期日、場所、参加者数

期 日	場 所	参加者数
38. 8. 17~9. 9	田島町他県内10会場	2,500名

ウ 内容 地方選挙を反省して。この頃の暮らしと経済問題。暮らしの中の私たちの憲法の三分科会により協議をするとともに全体会により相互研修を行なう。

講義 東京学芸大学 星野安三郎
 福島大学学芸学部長 平井 博
 福島民友新聞編集局長 籾内喜一郎
 福島大学 菊池 貴晴
 法政大学 中村 教授

(4) 県婦人団体連合会会長研修会

ア 目的 新しい視野にたつ民主団体とするための研究を進め、あわせて会長としての資質の向上を図る。

イ 期日、場所、参加者

期 日	場 所	参加者数
38. 5. 11~14	飯坂町県婦人会館	350名

ウ 内容

(ア) 研究主題 暮らしをよくするための婦人会の学習と運営はどうしたらよいか。

(イ) 分科会協議主題

- 団体運営について考えたいこと。
- 予算のたて方について。
- 社会的問題に対して婦人会のとるべき態度。

○ 経済生活、マスコミ文化について

エ 方法

方部混合3分科会と全体会。

第4節 社会教育施設視聴覚教育

1 概 況

社会教育の中心施設である公民館の役割、経済の高度成長に伴い再検討が必要となってきたので、本年度の重点目標は (1)独立公民館の設置促進と既存公民館の整備充実、(2)公民館管理運営の改善においた。公民館の新築は本郷町、天栄村、三穂田村の3館に対し文部省補助が決定し、各地にモデル公民館が誕生しつつあることは大きな意義をもつものと思う。設備については映写機11台、テレビ2台、録音機2台が文部省補助をうけ、いっそうの充実をみせてきたことは喜ばしい限りである。なお「公民館の設置および運営の基準」にしたがい公民館の配置計画、施設設備の整備などについて年次計画による推進をはかる必要がある。公民館管理運営の改善については、県土の総合開発の計画化に伴い、地域社会の総合計画に対応した教育計画を樹立するため、総合社会教育の推進と連けいた公民館の事業計画を中心として公民館訪問による指導助言の強化を図り、多くの効果を収めた。特に公民館職員の資質を向上し、事業の刷新をはかるため勤務年数3年未満の職員を対象とした公民館職員研修会が実施されたことは特筆すべきことである。

視聴覚ライブラリーについては、各ライブラリーの充実と管理運営の改善、さらに相互の連けいの強化に努力してきた。視聴覚教育の重要性がますます認識され、16ミリ映画はもちろん各種視聴覚教材の利用が学校教育、社会教育の両面にわたりさかんとなりつつある時、社会教育の施設としてのライブラリーをさらに充実する施策を考慮しなければならない。

2 県内公民館数

(38. 4. 1)

区 分	独 立			併 置				合 計	
	新 築	転 用	老 朽	専用部分なし	30坪未満	100坪未満	100坪以上		
中央公民館	市	3	3	—	—	—	3	1	10
	町	15	10	13	8	7	1	—	54
	村	10	6	4	16	4	3	—	43
	法 人	—	(1)	—	—	—	—	—	(1)
計	28	19	17	24	11	7	1	107	
地区公民館	市	18	18	5	—	24	15	1	81
	町	10	36	13	6	31	26	5	127
	村	1	11	5	5	3	4	—	29
	法 人	—	—	—	—	—	—	—	—
計	29	65	23	11	58	45	6	237	
総 数								(1)	344